

2011年度

科目名	文化財行政論			
担当教員	笠井 敏光			
配当	文財2		コード	42036
開期	前期	講時	木曜日2限	単位数 2
授業テーマ	文化財保護行政の現状と課題			
目的と概要	日本における文化財保護制度の概要と諸問題を考える。			
成績評価法	レポートとその発表(60%)・平常点(40%)により総合的に評価する。			
テキスト	特に定めない。			
参考書	講義中に紹介する。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	「文化財保護法」を配布するので、条項を確認しておくこと。 レポートの作成と発表のために、十分な準備をおこなうこと。			
講義計画				
第 1回	文化財とは	文化財の概念とその対象		
第 2回	文化財保護法と保護行政	保護法の内容とその変遷		
第 3回	指定制度と登録制度	文化財の指定と登録について		
第 4回	有形・無形・民俗文化財	対象とその実例		
第 5回	史跡名勝天然記念物	対象とその実例		
第 6回	伝統的建造物群	対象とその実例		
第 7回	埋蔵文化財の制度	埋蔵文化財の制度とその運用		
第 8回	埋蔵文化財の現状と課題	埋蔵文化財が抱えている課題		
第 9回	開発と保存	開発と保存は両立するのか		
第10回	地方分権と保護法改正	地方分権制度による改正とは		
第11回	遺跡の整備と活用	遺跡の整備方法と活用施策		
第12回	建造物の保存と活用	建造物の保存そして活用の実態		
第13回	文化財の普及と市民生活	文化財と市民生活との関わり		
第14回	文化財と文化遺産	文化財と文化遺産の違い		
第15回	文化財の活用事例	積極的な活用事例を検討する		